

3. ブナ帯の樹種更改技術

1. 試験担当者

東北支場育林部長	山 谷 孝 一
◆ 育林第一研究室長	古 川 忠 ほか
◆ 育林第二研究室長	加 藤 亮 助 ほか
◆ 育林第三研究室長	藤 田 桂 治 ほか

2. 試験目的

東北地方の奥地林には老令過熟の広葉樹天然林が多く、生産力増強のためには生長旺盛な優良針葉樹林に樹種更改をおこなう必要があるが、この地帯では環境条件が不利で、しかも造林経験も乏しい。これらの関係を究明し、成林の確実をはかる必要がある。

このため東北地方のブナ帯上部に設定した樹種更改試験地および各種造林地の環境、生長調査をおこない、この地帯における樹種更改の可能性について究明する。

3. 昭和45年度の経過とえられた結果

1. ブナ林上部弱ポドゾル化土地地帯の樹種更改試験 弘前署管内岩木山地区で実施、スギ、カラマツ、トドマツを主として、植栽後11年経過、造林木の埋雪実態調査により枝打による雪害回避の見とおしがえられつつあり。
2. 川井署管内早池峯山樹種更改試験地および久慈署管内安家樹種更改試験地、前者では混植カラマツの伐採、整理、後者では生長実態調査を実施した。
3. 矢島署管内手代沢樹種更改試験地 生長実態調査を実施、カラマツ、スギの生長は比較的良好であるが、雪害は増加しつつある。

4. 昭和45年度の試験計画

1. 岩木山試験地
秋季 枝打(スギ、カラマツ) 前年度処理区の雪害調査 施肥
2. 早池峯山試験地
混植カラマツ整理後の林分調査
3. 手代沢試験地
区画整理